■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）／インデックス型
信託期間	無期限（設定日：2021年８月23日）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動をめざす投資信託証券に投資し、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 **ゴールド・インデックス・マザーファンド** ｉシェアーズゴールド・トラスト ＳＰＤＲ® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト
当ファンドの運用方法	■ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。 ■マザーファンドが投資対象とする投資信託証券は、継続的にモニタリングを行い、商品性および運用上の効率性を損なわない範囲で、委託会社の判断により見直しを行うことがあります。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
組入制限	**当ファンド** ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 **ゴールド・インデックス・マザーファンド** ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年１回（原則として毎年11月30日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

三井住友DS・ゴールド インデックス・ファンド （為替ヘッジあり）

【運用報告書（全体版）】

（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

第 1 期

決算日 2021年11月30日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動をめざす投資信託証券に投資し、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

https://www.smd-am.co.jp

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター　0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			（ベンチマーク）LBMA金価格（円ヘッジ換算ベース）		投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率		
（設定日）	円	円	%		%	%	百万円
2021年８月23日	10,000	－	－	100.00	－	－	1
１期（2021年11月30日）	9,748	0	△2.5	100.28	0.3	101.0	37

※基準価額の騰落率は分配金込み。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。
※ベンチマークは、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。
※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

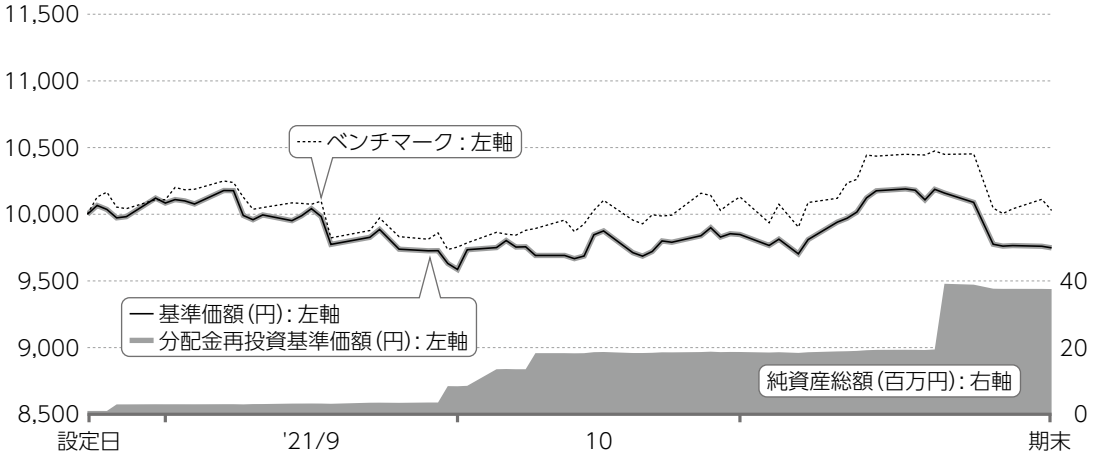
年月日	基準価額		（ベンチマーク）LBMA金価格（円ヘッジ換算ベース）		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
（設定日）	円	%		%	%
2021年８月23日	10,000	－	100.00	－	－
８月末	10,084	0.8	101.09	1.1	94.9
９月末	9,586	△4.1	97.54	△2.5	96.0
10月末	9,848	△1.5	101.30	1.3	108.7
（期末） 2021年11月30日	9,748	△2.5	100.28	0.3	101.0

※騰落率は設定日比です。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

基準価額等の推移



※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

設 定 日	10,000円
期　　末	9,748円 （既払分配金0円（税引前））
騰 落 率	−2.5% （分配金再投資ベース）

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。（以下、同じ）

※当ファンドのベンチマークは、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

下落要因

●取引コストや信託報酬

投資環境について（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

期間における金価格（米ドルベース）は、小幅上昇しました。

金価格は、米ドル安を背景に上昇して始まりましたが、９月になると、ＦＯＭＣ（米連邦公開市場委員会）を経て米国で金融政策正常化プロセスが視野に入ったことで、米国金利が上昇し、金価格は下落に転じました。

10月から11月中旬にかけては、インフレに対する警戒感や米ドル安が支えとなり、上昇基調での推移となりましたが、11月下旬にパウエルＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）議長が再指名を受けると、米国短期金利を中心に金利が上昇し、金価格は反落しました。

ポートフォリオについて（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

当ファンド

ゴールド・インデックス・マザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

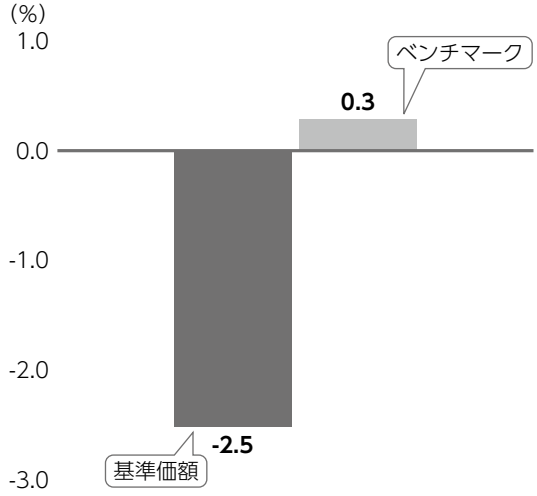
ゴールド・インデックス・マザーファンド

●ポートフォリオの特性

金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資することにより、ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

基準価額とベンチマークの騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）をベンチマークとしています。

左のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は－2.5％（分配金再投資ベース）となり、ベンチマークの騰落率＋0.3％を2.8％下方乖離しました。

下方乖離要因

- ●取引コストや信託報酬がかかったこと
- ●投資している投資信託証券（ニューヨーク16時）とベンチマーク（ロンドン15時30分）との評価時間が大きく離れており、今回は下方乖離したため

分配金について（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

（単位：円、１万口当たり、税引前）

項　目	第１期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	0

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

ゴールド・インデックス・マザーファンドへの投資を通じて、金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資し、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことにより、ＬＢＭＡ金価格（円ヘッジ換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

ゴールド・インデックス・マザーファンド

金地金価格との連動を目指す投資信託証券に投資することにより、ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

3 お知らせ

約款変更について

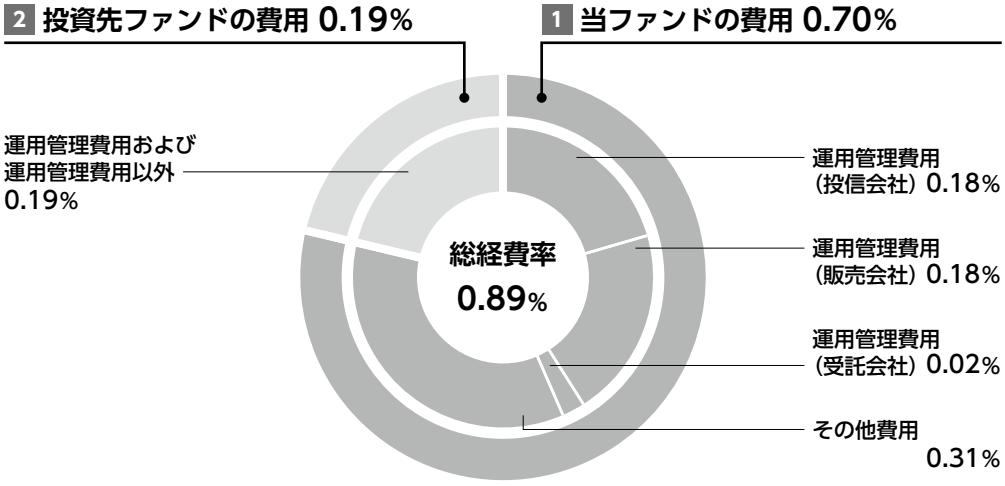
該当事項はございません。

１万口当たりの費用明細（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

項　目	金額	比率	項目の概要
(a) 信　託　報　酬	10円	0.105%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は9,897円です。
（投　信　会　社）	(5)	(0.050)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販　売　会　社）	(5)	(0.050)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.006)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	69	0.697	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株　　式）	(－)	(－)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(69)	(0.697)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株　　式）	(－)	(－)	
（公　社　債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.086	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保　管　費　用）	(0)	(0.003)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
（監　査　費　用）	(0)	(0.001)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（そ　の　他）	(8)	(0.082)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合　　計	88	0.888	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1＋2)	0.89%
1 当ファンドの費用の比率	0.70%
2 投資先ファンドの費用の比率	0.19%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
※2の投資先ファンドの費用は、ゴールド・インデックス・マザーファンドが組み入れているＥＴＦの「管理費用」の数値を用いて、平均投資比率を勘案して計算しています。また、ゴールド・インデックス・マザーファンドが支払った費用は含まれていません。
※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は0.89%です。

当期中の売買及び取引の状況（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ゴールド・インデックス・マザーファンド	37,986	38,448	599	606

利害関係人との取引状況等（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

自社による当ファンドの設定・解約状況（2021年８月23日から2021年11月30日まで）

期首残高（元本）	当期設定（元本）	当期解約（元本）	期末残高（元本）	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
1	－	－	1	当初設定時または当初運用時における取得等

組入れ資産の明細（2021年11月30日現在）

親投資信託残高

種類	期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ゴールド・インデックス・マザーファンド	37,386	37,285

※ゴールド・インデックス・マザーファンドの期末の受益権総口数は864,264,346口です。

投資信託財産の構成（2021年11月30日現在）

項目	期末	
	評価額	比率
	千円	%
ゴールド・インデックス・マザーファンド	37,285	99.2
コール・ローン等、その他	292	0.8
投資信託財産総額	37,578	100.0

※ゴールド・インデックス・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（845,047千円）の投資信託財産総額（957,126千円）に対する比率は88.3％です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝113.77円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2021年11月30日現在）

項目	期末
(A) 資産	**77,505,848円**
コール・ローン等	59,691
ゴールド・インデックス・マザーファンド(評価額)	37,285,529
未収入金	40,160,628
(B) 負債	**39,942,819**
未払金	39,927,739
未払信託報酬	14,870
その他未払費用	210
(C) 純資産総額(A－B)	**37,563,029**
元本	38,535,757
次期繰越損益金	△ 972,728
(D) 受益権総口数	**38,535,757口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**9,748円**

※当期における期首元本額1,000,000円、期中追加設定元本額37,535,757円、期中一部解約元本額0円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

（自2021年８月23日　至2021年11月30日）

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	**△ 912,216円**
売買益	251,332
売買損	△1,163,548
(B) 信託報酬等	**△ 22,780**
(C) 当期損益金(A＋B)	**△ 934,996**
(D) 追加信託差損益金	**△ 37,732**
(売買損益相当額)	(△ 37,732)
(E) 合計(C＋D)	**△ 972,728**
次期繰越損益金(E)	**△ 972,728**
追加信託差損益金	△ 37,732
(配当等相当額)	(△ 24)
(売買損益相当額)	(△ 37,708)
繰越損益金	△ 934,996

※**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
※株式投信の**信託報酬等**には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。
※**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	0
1万口当たり当期分配対象額	0.00
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	当期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第１項各号に該当する事項はありません。

ゴールド・インデックス・マザーファンド

信託期間	無期限（設定日：2021年８月３日）
運用方針	■ＬＢＭＡ金価格（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 ■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

「ゴールド・インデックス・マザーファンド」は初回決算を迎えていないため、記載すべき事項はございません。